

# 状態変化主体の他動詞文

- ◆ 天野みどり(1987)「状態変化主体の他動詞文」『国語学』151、1-14.
- ◆ 天野みどり(2002)『文の理解と意味の創造』笠間書院
- ◆ (41) 私たちは、空襲で家財道具をみんな焼いてしまった。
- ◆ (42) 勇二は教師に殴られて前歯を折った。
- ◆ (43) 気の毒にも、田中さんは昨日の台風で屋根を飛ばしたそうだ。

# 状態変化主体の他動詞文の条件

- ◆ (44) 条件
- ◆ 【1】述語の他動詞が主体の動きと客体の変化の両方の意味を表し、主体の意志性を無化することが可能な他動詞である。
- ◆ 【2】事態の直接の引き起こし手を言語的に明示することが可能である。
- ◆ 【3】状態変化主主体の他動詞文のガ格名詞とヲ格名詞は、全体部分の関係にある。